

学校生活

勉強する場所を多くの選択肢から選べるのが魅力的です。例えば、静かに勉強したいときは図書館に行きますが、図書館の中でも多少の会話をして良い場所か完全に私語禁止の場所か選べます。自転車でエクササイズをしながら勉強できる机もあって驚きました。他には、開放的な建物の階段や個別の仕切りのあるソファなど気持ちがりラックスできる勉強場所もあります。

授業関連

履修登録は渡米前から行っていましたが、同じ授業でも授業時間や教室の場所、そして指導教員によって選択肢がたくさんあったので迷いました。実際に初回の授業を受けて先生の授業スタイルを比べたり、アカデミックアドバイザーに相談したりして履修する授業を決めました。アカデミックアドバイザーは履修する授業の相談をできる専門の職員で、客観的かつ冷静な意見をくれるのでとても参考になりました。

授業はシラバスで予定されている範囲の教科書を事前に予習し、理解してから参加することが前提とされています。教科書を読んで理解するのに時間がかかり、他の課題や予習が進まないで、とてもストレスを感じます。最近はずいぶん慣れてきました。授業中は板書が少なく、その代わりにどの授業でも先生と生徒の意見の交換が活発です。どんな些細なことでも挙手をしてクラス全員で共有するという授業内でのアウトプットに驚きました。

また、エキストラクレジットという制度があり、事前に指定された課題や小テストをこなせば自動的に成績点に加点されるというシステムがあることに驚きました。

充実した学習サポートにも驚いています。私はライティングの授業を受けているので、ライティングセンターを活用していますが、留学生はもちろんネイティブの学生もセンターを訪れエッセイの添削をしてもらっています。文法の添削だけでなくエッセイの構造や論理のアドバイスもしてくれるので課題が出されるたびにライティングセンターに行っています。他にはプレゼンテーションの発表の練習とアドバイスをしてくれる団体もあります。

その他

学生の服装のラフさに驚いています。気温が高いのでその方が過ごしやすいのだろうと理解はできますが、それでも違和感を感じます。逆に、金曜日の夜や週末は見違えるほどきちんとした私服を着る人もいるのでそれはそれで見ていて面白いです。

最初は授業や日常会話で言いたいことを的確に伝えられない、聞き取れないことに落ち込み、人と話すことを億劫に感じていました。まだ自分の語学が向上した実感はありませんし、未だに人と話すときは緊張しますが、最近は敢えて自分からイベント（ボランティアや英会話）に参加したりルームメイトに話しかけたりして人と話す機会を作るようにしています。

休みの日は課題や、食料の買い物、イベントがあればそれに参加しています。日曜日はルームメイトの通う教会と一緒に行って、託児ボランティアをさせてもらっています。